

# 学 藝

令和7年(2025年)8月／第154号  
— 特集：総会・講演会 —



令和7年度総会



講演「徳川の『平和』パクス・トクガワーナ」と  
江戸のリテラシー」

講師 東京学芸大学名誉教授 大石 学 先生

|          |                                                      |
|----------|------------------------------------------------------|
| ◇ 巻 頭 言  | 理事長あいさつ……………理 事 長 茅 原 直 樹… 1                         |
|          | 前理事長退任のあいさつ……………前理事長 森 富子… 2                         |
|          | 最近の出来事から……………副理事長 小川 優… 3                            |
|          | 副理事長の役割……………副理事長 青山 直志… 4                            |
| ◇ 記念講演   | 「徳川の『平和』(パクス・トクガワーナ)と江戸のリテラシー」…東京学芸大学名誉教授 大石 学 先生… 5 |
| ◇ 総会資料   | …総会要項、令和7年度事業計画・収支予算書、令和6年度事業報告・収支決算書…………… 8         |
| ◇ 令和7年度  | 理事・部員・監事等名簿……………14                                   |
| ◇ 令和7年度  | 支部長名簿……………16                                         |
| ◇ 附属学校等  | 研究案内……………17                                          |
| ◇ 本部だより  | ……………総務部・会計部・研修部・調査部・広報部他…18                         |
| ◇ 総会・懇親会 | の様子……………20                                           |



## 絆の力

理事長 茅 原 直 樹

令和七年度総会におきまして、理事長に選任されました茅原直樹です。会員の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

前任の森富子先生は、コロナ禍とも重なった二期四年間に及ぶ在任期間中、本会財産の運用に関する課題、母校の創基一五〇周年への対応等、重要かつ先送りできない課題を、類まれなるリーダーシップを発揮して鮮やかに解決してされました。

その森前理事長をはじめとする諸先輩方の築き上げてこられた一般社団法人東京学芸大学同窓会の輝かしい伝統を引き継ぐという重責が、私のような者に務まるのか、という不安の中で、あつという間に一か月が過ぎました。

しかし、私が抱いていた不安は、杞憂に過ぎませんでした。今回、私と共に選任された本部役員・理事の皆様は、力のある方ばかりで、この一か月、私が何も言わなくても、それぞれ率先して課題に取り組み、協力しながら会務を円滑かつ力強く進めてくださっているからです。私は、これこそが同窓の絆の力であると思います。

今回の本部役員人事では、高校籍の先生、そして母校学芸大学の先生をお迎えできました。これにより本部役員には、幼・小・中・高・大の全校種の方々が揃いました。これは大きな意義のあることです。言うまでもなく、本会の重要な会務の一つは、同窓生に限らず有望な若手教員を見出し、次代の日本の学校教育を担う人材として育成することにあります。本会定款第三条には、本会の目的として「我が国の教育の発展、特に東京都教育の振興を図り、併せて会員をはじめとする学校教育教員の資質を高めること」と示されています。この目的を果たすためには、大学も含む全校種の同窓の方々のお力が必要だからです。

具体的な育成策として、今年度も既に、管理職養成のための論文研修が行われました。九月には面接研修、来年二月には主任教諭選考のための研修も予定されています。そして、十一月には、母校で行われる学生対象の教職課程特別講座もあります。こちらにも既に本会会員から四名の方々を講師として推薦させていただきました。ご協力をいただきました皆様方には、本当に感謝申し上げます。

ところで、私は、四月から私立の学校法人に勤務させていただいております。その法人の経営する高校の先生方にも同窓生が複数おり、若手教員のリーダーとして活躍しています。

ご存知のとおり、私もが学校教育を担う東京都は、全国でも群を抜いて私立学校の多い地域です。手元のデータによりますと、全国二百十三の私立小学校のうち四分の一にあたる五十三校が都内にあります。都内中学校のおよそ四校に一校、高校の二校に一校が私立です。幼稚園は二位の神奈川県を三五〇園上回る九六九園が私立です。これら多くの私立学校でも同窓の方々が多数活躍されており、私といたしましては、その方々とも何らかの形で連携を図り、絆の力をさらに強くできないものかと思索しているところです。

今後、どのような形が可能なのか、全国組織辟雍会の皆様のお力もお借りしながら、探っていければと存じます。

一方、次期学習指導要領は、二年後の改定に向けて、現在、本格的な審議が進んでおります。これらの動向も見据えながら、生成AIの時代の子どもたちに、豊かな創造性と明るい未来を築く力をはぐくむ学校教育を推進するため、会員の皆様と共に力を尽くしてまいりたいと存じます。

どうか今後とも、ご指導ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。挨拶に代えさせていただきます。



## 退任の挨拶 お世話になりました

前理事長 森 富子

和田前理事長の後を受けて、四年間理事長をさせていただきました。皆様 本当にお世話になりました。振り返ってみても、楽しい四年間でした。一緒に関わってくださった理事や監事の皆様、そして各部の部員の皆様、顧問や参与の先輩の皆様のおかげだと心から感謝しております。

和田先生から引き継いだ令和三年は、新型コロナウイルス感染症が、まだ学校や社会に大きな影響を及ぼしていて、都内全体、各学校の行事や会合、懇親会も行われず、会議はすべてオンラインという厳しい状況が続いていました。そんな状況の中でも、東京学芸大学同窓会の各部署は、会務を工夫しながら継続しており、本当にありがたかったです。そして、四年度、五年度と少しずつ、会合が開催されてきて、令和六年度より、ほぼ以前と同じような新年祝賀会が開催され、今年の令和七年一月の新年祝賀会では、入場制限なくできたことは、本当に嬉しかったです。

会員の皆様と直接お話ができる喜びは、同窓会の本来の趣旨です。親睦を図り、連携を強める上で会合は大事です。各支部の総会等でも呼ばれることが多くなり、令和六年度は多くの支部会に参加させていただきました。令和七年度に入りましても、多くの支部からお招きをいただきました。ありがとうございます。本当は、島嶼部にもうかがうことができればよかったと、そこは今でも残念です。支部会がオンラインになって、遠方の方々も参加できるようになったこともよかったです。これからもこのオンラインの会議は続けていただければと思います。

また、懸案だった、東京学芸大学同窓会の財産の使いみちを、顧問の皆様や理事の方々と東京学芸大学と相談させていただきました。少し整理できたことは嬉しかったです。大学に桜の木や植樹をいたしました。さらに、図書館に、辟雍会と協力して、全国の教職関係のことが分かるコーナーの設置や学生のために大きな机などの寄贈など、普段ではできない寄附をすることができたのもいい機会でした。昨年度は、附属の小中学校幼稚園に寄附をすることもできました。これからも、東京学芸大学の学生のために、役に立てるような寄附などを進めていただければ幸いです。

理事長として、多くの会合に参加させていただきました。まずは、母校、東京学芸大学との関わりです。入学式や卒業式の行事や特に創基一五〇周年では、改めて大学と東京学芸大学同窓会の歴史を学ぶことができました。今は、学芸大学同窓会、一水会と分けて会合したり研修したりする時代ではなくなりましたが、独自の研修機関があったり、歴史と伝統があったりして、そのことにも触れることができたことも新たな発見でした。

東京学芸大学同窓会が、事務局として常に会合や集会に利用させていただいている竹早保育士養成所との連携も忘れてはならないものです。東京学芸大学同窓会とは、長い歴史の中で大きなつながりがあり、今も連携があり、これからも必要です。卒業生の皆様も、都内や全国の幼稚園や保育園で活躍されています。この先生方と関わることができたこともありがたかったです。卒業生の皆様も、多くの方々と知り合うことができたこと、卒業しても東京学芸大学と関わることができたこと、理事会や部員の先生方、支部長会の先生方とたくさん話ができたことはとても楽しい時間でした。私は、須山理事長先生の時代から、この東京学芸大学同窓会に総務部員として入らせていただき、約二〇年間、途中五年間抜けていますので正確には一五年間、同窓会と一緒に過ごしてきました。ここで退任すること、一抹の寂しさもありますが、まだ東京学芸大学に勤務していることもあり、これからは、別の方向からお手伝いさせて

いただくと思っています。これからの東京学芸大学同窓会の発展を心から応援しています。皆様、本当にお世話になり、ありがとうございます。



## 最近の出来事から

副理事長 小川 優

六月の同窓会総会では、役員改選が行われ、四年間務められた森富子理事長が退任され、新しく茅原直樹理事長が選任されました。

本部の理事・役員は、新体制のもと、心を一つにして支部の皆様、関係組織の皆様と連携・協力して一層の絆を深め、組織的に仕事をしたい。こうと決意を新たにしました。

最近の出来事①は、理事・役員が参加できるグループメールを始めたことです。集合して行う理事会を待たずに、いつでも情報や問題意識を共有できるようになりました。例えば、東京都への報告が無事に終わったこと、例えば、支部の総会・懇親会に副理事長の誰が出席するかを相談できる等々、なぜもと早くこの便利なシステムを利用しなかったのかな、と思いました。

最近の出来事②は、副理事長の仕事柄、担当支部の総会・懇親会にお招きをいただくことがあるのですが、その内容・雰囲気は少し変わったな、と感じたことです。二年前は、コロナ禍で何年も実施できなかった懇親会がやっと再開され、学大同窓会の先輩や仲間と直接再会できる感激や懐かしさ、喜びの声があふれていたと記憶しております。

最近、その喜びに加えて、大先

輩方のご健康で活躍の様子が多く報告され、輝きを増しているように感じました。同窓会の活動が出席された諸先輩方の並々ならぬご尽力のおかげで営々と続いてきたことに深い感謝を感じる瞬間です。本部・支部とも今年度の事業計画が順調に実行されることを願わずにはいられません。

最近の出来事③は、これは私事になりますが、校長職を満了し、四月より学校現場で特別支援教育の一スタツフとして勤務しております。その中で特に感じることは、①子どもは話したい、自分の話をもっと聞いてほしい②子どもはもっと運動したがつている③子どもは社会や集団の影響を受けやすい。繊細であればあるほど。の三つです。当たり前のことかもしれないですが、人間の根源的な欲求といえますが、それを日常的に満たしてあげることの大切さを改めて感じる今日このごろです。

最近の出来事④は、企業の株主総会の報道です。物言う株主によって社長の解任を提案する事例もあるようです。校園長にとって株主とは誰でしょうか。私は一人一人の子どもと保護者だと思っています。その思いをしつかり受け止めて仕事をしていきたいものです。

## 副理事長の役割

副理事長 青山直志

前理事長の森富子先生のもと二期四年間、総務部長を務めて参りましたが、この度、副理事長を仰せつかりました。

理事長と総務部長を学校に例えるなら、校長と副校長の関係であると感じていました。一般社団法人である東京学芸大学同窓会という組織の伝統を引き継ぎ、更に活性化させるには如何にあるべきか、森先生と常に相談しながら進めていました。

最も大きな変革は組織のDX化です。コロナ禍以前、総務部は休日の土曜日に総務部長の学校に集まって、支部長会資料の印刷と発送の作業に天手古舞でした。各支部長宛に支部の学校園数分の資料を送るのですから、そのボリュームと郵送料金は相当なものでした。

コロナ禍で支部長会自体が開催困難となり、オンライン会議等の設定が急務となりました。そこで、Zoomと法人契約をし、本会HPをリニューアルして資料等を配信すること、円滑なオンライン支部長会を開催することができるようになりました。経費の大幅な削減だけでなく、島嶼等の遠隔地から参加してくださる支部長の方々が増えました。

様々な連絡も支部長（名簿作成担当者）名簿を基に一斉メール配信することで、本部と各支部が緊密に連携できるようになりました。この成果は勿論、総務部のみならず、広報部、調査部などの努力があつてのことです。

さて、私はこの四月、東京学芸大学教授及び附属大泉小学校長に着任いたしました。附属十一校園は本会の学芸大支部という括りです。しかしながら、本会との関係は希薄でした。それは、高等学校支部や特別支援学校支部と同様、地域性がないことに起因します。これからは本会のDX化を十分に生かし、どの校種、園、教育委員会等、更に東京学芸大学内でも同窓の絆を強く感じられるようにしていきたいと思っています。

そのお手伝いをするのが副理事長の役割であると考えています。五名の副理事長には其々担当支部があります。各副理事長からは各支部長の方々に直接お電話を差し上げ、会計部の会費納入のことや研修部の教育管理職等幹部教員育成研修会のこと、そして各支部の運営等についてお話を聞かせていただきたいと思います。お待ちしております。

## 記念講演

# 250年の「平和」が育んだ学びと笑いの力

—「パクス・トクガワナと江戸のリテラシー」より—

講師：東京学芸大学名誉教授 大石 学 先生講演



令和七年六月八日（土）、東京学芸大学同窓会総会後に、記念講演「パクス・トクガワナと江戸のリテラシー」が開催されました。講演には、歴史学者として名高い大石学先生（東京学芸大学名誉教授・静岡市歴史博物館館長）を講師に迎え、江戸時代の「平和」の意義や庶民の学び、文化の特徴が多角的に語られました。

大石先生は、大河ドラマなどで時代考証を担当され、多くの歴史関連のメディアにも出演されてきました。今回も、深い洞察と説得力のあるお話をされました。この講演は、教育関係者や歴史が好きな方のみならず、幅広い層の方を対象としています。その内容は、江戸時代の歴史に限らず教育の本質を示唆する学びの多い内容でした。講演中は、豊富な歴史エピソードと笑いが巧みに織り交ぜられ、あつという間に時間が過ぎました。

### ●「パクス・トクガワナ」とは

江戸時代の約二百五十年間に及ぶ「平和」は、「パクス・トクガワナ」と呼ばれ、特に世界史上の「パクス・ロマーナ」や「パクス・ブリタニカ」「パクス・アメリカナ」と並び称される歴史的な秩序維持の時代とされています。この時代の「平和」は単なる軍事的制圧に頼ったものではなく、法による秩序支配や対話を通じて維持されたものでした。

戦国時代の混乱を経験した日本人は、「平和」の重要性を深く理解し、それを社会全体で共有しました。法の整備や社会規範の形成により、暴力ではなく対話・合意が統治の中心となり、安定した社会を築き上げました。この「平和」の期間に、農業や商業、文化活動が大きく展開し、後の明治維新に向けた土台が整えられたのです。

また、「パクス・トクガワナ」は単に戦争がないだけでなく、庶民の生活が豊かになり、文化的発展を支える基礎ともなりました。この「平和」な時代は、幕府だけでなく、庶民の協力と規律によって成立した点も大きな特徴です。この時期の社会は、村落共同体や町の自律的な組織によって支えられ、それが結果として全国規模での安定をもたらしました。

## ●江戸の教育文化

時代劇では庶民は文字が読めないように扱われますが、江戸時代において教育は、寺子屋や私塾・郷校などを通じて庶民の間に広がりしました。これらの教育機関は、現在のような義務教育制度とは異なり、学びたい人が自発的に参加する形態をもっていました。この教育の主な目的は、生活に役立つ実用的なスキル（読み書きやそろばんなど）を身につけることであり、それが個々人の生活を支える重要な手段となりました。

寺子屋の教育は、通学する子どもだけでなく、家族もまた学びに参加する機会になりました。また、読み書きが普及した結果、庶民が文字情報を活用して商取引や文化活動を活発化し、コミュニケーションが多様化しました。女性も教育に積極的に関与し、家事や家庭内教育を通じて知識を広めました。

特筆すべきは、江戸時代の教育が個人の興味や目標に応じた柔軟性をもっていた点です。たとえば、手工業を営む人々は商取引に必要な計算能力を鍛えることができ、商人の子どもたちは帳簿の管理や計算技術を学ぶことで、後の家業の発展に繋がっていました。このように、教育は庶民の社会的役割を自覚させる手段ともなり、地域社会（コミュニティ）の結束力を強める要因にもなっていました。

## ●リテラシーとユーモア

江戸庶民のリテラシーとユーモアは生活の中で活かされました。このことに関して、江戸時代の小咄から引用します。たとえば、寺子屋で字を習った子どもが来客の前で「百」という字を書いてみせようとして、たった一画書いただけで、父親が「ひゃ」ができたと言ふエピソードです。学びを通じた家族間のコミュニケーションの一例です。

また、貧しい行き倒れ人が所持していた「行き倒れ記録帳」には、助けた人や内容を克明に記録しており、当時の下層民へのリテラシーの広まりが知られます。

さらに、笑いは学びの潤滑油として機能していました。江戸時代の小咄や川柳、言葉遊びなどは、日常生活に笑いをもたらし、人々の間での交流を活性化する役割を果たしました。これらの活動が、個々の創造力を引き出し、リテラシーの発展を支えたことは特筆に値します。

## ●欧米から見た江戸社会

江戸時代に訪日した欧米人の記録には、江戸時代の「平和」と文化に対する深い感銘が数多く記されています。幕末期に来日したドイツの考古学者シュリーマンは、日本の秩序や文化的水準を「文明の頂点」と称賛し、フ

ランス公使レオン・ロッシュもまた、「戦争のない二百五十年間という歴史は、世界でも前例がない」と評価しました。

特に興味深いのは、庶民が楽しんで行っていた知的活動の数々です。神社に奉納された数学の問題「算額」や、精巧に作られたからくり人形などは、欧米人を大いに驚嘆させました。これらの活動は、学びが生活の中にあつたことを象徴しています。

また、出版文化の発展も評価されます。当時の人々が詩や川柳を投稿したり、旅日記を記したり、仲間うちで文学サークルを組織したりしていたことは、知識や感情の共有の機会になりました。このような文化的成熟は、現代社会の知識共有の基盤ともなりました。

## ●笑いと言白のある「平和」

「平和」とは単に戦争がないことを指すのではなく、社会に笑いと言白が存在していることが重要だと思います。江戸時代の庶民文化に深く根付いている「笑い」の意義を改めて考えることが大切です。笑いは、単なる娯楽としてだけでなく、人々の心に余裕を与え、コミュニケーションを円滑にし、社会の調和を促進する重要な要素として機能していました。

江戸時代の町中には文字があふれ、また、



笑いを生み出す要素も多くありました。小咄や川柳、講談、さらには看板に記された文字などが日常生活の中で親しまれていました。たとえば、「通り抜け無用で通り抜けが知れ」の句の、逆に通り抜けを知らせる効果を生むというユーモアは、当時の人々の感性の豊かさを表しています。庶民が日常的に川柳や小咄をつくり、仲間うちで発表し合う文化は、笑いが知識や社会的つながりを生む潤滑油となっていたことを示しています。

こうした「余白のある社会」は、効率や生産性を重視する現代社会にも重要なメッセージを投げかけています。現代では効率性の追求がしばしば人間関係や感情のゆとりを失わせています。江戸時代の笑いの文化がもたらした心の余裕を現代に取り戻すべきだと思えます。「余白のある社会」は、忙しい現代社会に生きる私たちにとって、大きな示唆を含んでいます。

### ●教育の本質

教育は、「共通性」と「個性」という、相反する二つの要素をどう調和させるかが基本的な考え方であり、寺子屋や私塾での学びの自由度がその一例です。庶民が自らの興味や必要性に応じて自由に学べる環境が整えら

れており、その結果、個々の創造力が引き出されました。

まず、教育を通じて育まれる「共通性」は、社会の一員として共有すべき基盤的な価値観や知識のことです。一方で、「個性」とは、それぞれの人がもつ独自性や創造性を尊重し、それを伸ばしていく力です。江戸時代の寺子屋では、学びが堅苦しい制度に縛られることなく、個人のペースで進められたため、この二つの要素が自然に調和していました。

現代社会においては、標準化された教育システムがしばしば個性を抑え込む要因になるとの指摘があります。しかし、江戸時代の教育のように個々の興味や能力を尊重することで、共通性と個性のバランスを取ることができます。具体的には、現代の教育現場で創造的な学びを促進し、多様な視点を育むカリキュラムを設計することが求められると言えます。

教育は単なる知識の伝達ではなく、社会全体の調和と発展を促す力でもあります。この点を改めて認識し、教育の在り方について深く考えていかなばなりません。

### ●現代への教訓

江戸時代から現代社会への教訓として、特に注目されるのは、江戸時代に見られた「法

による秩序」と「対話を重視した社会的調和」の精神です。この精神は、現代社会においても普遍的な価値をもっており、分断が進む現代社会における再構築のヒントとなり得るものです。

また、江戸時代の庶民の生活には、知識や文化が自然と浸透しており、それが人と人とのつながりを深める重要な要素となっていました。この時代の人々が文字や知識を生きるための「武器」として活用したように、現代社会においても正しい情報の取得と活用が求められています。これは、情報化社会の中で、フェイクニュースや誤情報が蔓延する現状において特に重要な課題と言えます。

すなわち、「平和」とは単に戦争がない状態を指すものではなく、社会における笑いと余白が真の豊かさをもたらします。この考え方は、ストレスやプレッシャーが多い現代社会において、より寛容で柔軟な社会を築くための指針となります。

江戸時代の学びや「平和」の精神は現代の私たちにとっても有益なヒントを提供しています。歴史を振り返り、その中から得られる知恵を活かすことで、現代社会が直面する課題を解決し、新たな未来を築くことが可能になります。

## 令和7年度 一般社団法人 東京学芸大学同窓会 総会要項

※期 日 令和7年6月8日（日）

◆受付 12:30～

※時 程 総 会 13:00～14:00

講演会 14:15～15:15

※会 場 東京学芸大学 講義棟S410教室

※次 第

### 【I】 総 会（13:00～14:00）

＜司 会＞

総務部長

青 山 直 志

1 開会の辞

副理事長

渡 辺 裕 之

2 理事長挨拶

理 事 長

森 富 子

3 来賓代表挨拶

東京学芸大学学長

國 分 充 様

4 来賓紹介

副理事長

小 川 優

5 議事録署名人の選出

6 議事

＜報告事項＞

（1）令和7年度

事業計画

副理事長

茅 原 直 樹

（2）令和7年度

収支予算書

会計部長

關 口 泰 正

＜審議事項＞

（1）令和6年度

事業報告

副理事長

茅 原 直 樹

（2）令和6年度

収支決算報告

会計部長

關 口 泰 正

（3）令和6年度

監査報告

監 事

石 川 加 子

（4）令和7年度

新理事・監事選任

監 事

篠 原 敦 子

（5）その他

＜休 憩（5分間）＞

7 理事会報告

新理事長

茅 原 直 樹

○新役員報告、紹介、挨拶

8 感謝状贈呈

東京学芸大学学長

國 分 充 様

9 退任役員代表挨拶

前理事長

森 富 子

10 退任支部長への謝辞

新理事長

茅 原 直 樹

11 閉会の辞

副理事長

貝 原 俊 明

### 【II】 講 演 会（14:15～15:15）

＜司 会＞ 新総務部長

「徳川の『平和』（パクス・トクガワーナ）と江戸のリテラシー」

【講師】 東京学芸大学名誉教授 歴史家 静岡市歴史博物館館長

大 石 学 先生

【A類社会科卒業】

＜謝 辞＞ 新理事長

茅 原 直 樹



## 令和7年度 事業計画

### 【公益事業】

#### A 研究・研修活動

##### 1 研究活動

###### (1) 総会後の教育講演会

令和7年 6月 8日(日) 14:15開会 東京学芸大学講義棟S410教室

演題 「徳川の『平和』(パクス・トクガワナ)と江戸のリテラシー」

講師:大石 学 先生 (A類社会科卒 東京学芸大学名誉教授 歴史家)

※YouTubeによる限定ライブ配信実施

###### (2) 広報誌「學藝」による研究校紹介

令和7年8月 第154号、令和7年12月 第155号、令和8年3月 第156号に

研究発表校の予告、発表終了後の報告等を掲載

教育情報が得られるよう同窓会ホームページを案内

##### 2 研修活動

###### (1) 教育管理職等幹部教員育成研修会の開催

###### ① 校長・教育管理職(A・B選考)受験者の論文研修会

・5月11日(日) 9:00~12:00 <新宿区立市谷小> 受講者30名見込み

・6月 1日(日) 9:00~12:00 <新宿区立市谷小> 受講者30名見込み

###### ② 面接研修会(校長及びA・B選考一次合格者対象)

・9月 7日(日) 9:00~15:00 <新宿区立市谷小> 受講者30名見込み

###### ③ 主任教諭選考受験者対象研修会

・2月 7日(土) 15:00~17:00 <新宿区立市谷小> 受講者50名見込み

#### B 出版活動

##### 1 管理職及び選考受験者用研修テキスト「獅子」第47集の改訂発行・頒布

令和8年3月予定 1000部

##### 2 若手教員及び教員養成課程履修学生用研修テキスト「子獅子」の改訂・寄贈

令和7年12月予定 600部

(東京学芸大学教員養成課程履修学生用教科書および若手教員の育成テキストとして活用)

#### C ホームページ運営

「一般社団法人 東京学芸大学同窓会」ホームページへの各校・園の研究発表会の案内掲載

#### D 関係団体との連携事業

##### 1 国立大学法人東京学芸大学との連携

###### (1) 入学式・卒業式への理事長参列

###### (2) 学生への資金援助(東京学芸大学基金として援助)

###### (3) 「教職実践演習」への講師派遣

##### 2 「辟雍会」との連携

###### (1) 副会長、理事への就任

###### (2) 理事会への出席

###### (3) ホームカミングデーへの参加

##### 3 その他関係団体との連携

###### (1) 学校法人竹早学園 竹早教員保育士養成所の卒業式への参列

###### (2) 学校法人竹早学園 つつじがおか幼稚園の入園式・修了式への参列

###### (3) 東京都一水会等の総会等への出席

### 【共益事業】

#### A 運営の充実を図るための事業

##### 1 理事会・支部長会の適切な企画と運営及び各活動の能率的な運営のための連絡調整

##### 2 諸記録の整理保管と財産の適正な管理

#### B 会員意識の高揚と組織の活性化を図るための事業

##### 1 総会の企画と実施・・・令和7年 6月 8日(日) 東京学芸大学講義棟S410教室

##### 2 新年祝賀会の企画と運営・・・令和8年 1月25日(日) 東京ガーデンパレス

##### 3 能率的かつ合理的な予算の適正執行と会費(正会員費、賛助会員費、終身会員費)納入の促進

##### 4 令和7年度 管理職名簿の作成・配布 令和7年8月に学芸大学同窓会ホームページ上に掲載予定(6月以降に管理職等名簿(仮PDF)を、同窓会ホームページ上に掲載予定)

##### 5 支部活動への役員出席

##### 6 終身会員の勧誘及び支部別組織化

##### 7 広報誌「學藝」での活動の周知

##### 8 ホームページを活用し、同窓会活動を周知

#### C 支部活動活性化への支援事業

##### 1 支部研修会への講師派遣

##### 2 広報誌「學藝」での支部活動の紹介

##### 3 会員数に応じた支部活動費の給付(200円×正会員費納入数)

## 令和7年度 収支予算書

令和7年 4月1日から  
令和8年 3月31日まで

(単位:円)

| 科 目             | 公益事業        | 寄1        | その他会計       |      |             | 事業計         | 法人会計      | 内部取引控除 | 合計        |
|-----------------|-------------|-----------|-------------|------|-------------|-------------|-----------|--------|-----------|
|                 | 小計          |           | 共益小計        | 収益事業 | その他会計小計     |             |           |        |           |
| I 一般正味財産増減の部    |             |           |             |      |             |             |           |        |           |
| 1. 経常増減の部       |             |           |             |      |             |             |           |        |           |
| (1) 経常収益        |             |           |             |      |             |             |           |        |           |
| 基本財産運用益         | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0      | 0         |
| 基本財産賃貸収入        | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0      | 0         |
| 受取会費            | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 5,100,000 | 0      | 5,100,000 |
| 会費収入 正会員費       | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 3,600,000 | 0      | 3,600,000 |
| 準会員費            | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0      | 0         |
| 賛助会員費           | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 1,400,000 | 0      | 1,400,000 |
| 終身会員費           | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 100,000   | 0      | 100,000   |
| 事業収益            | 2,212,000   | 0         | 0           | 0    | 0           | 2,212,000   | 0         | 0      | 2,212,000 |
| 出版頒布「獅子」        | 2,000,000   | 0         | 0           | 0    | 0           | 2,000,000   | 0         | 0      | 2,000,000 |
| 出版頒布「子獅子」       | 12,000      | 0         | 0           | 0    | 0           | 12,000      | 0         | 0      | 12,000    |
| 論文研修開催収入        | 100,000     | 0         | 0           | 0    | 0           | 100,000     | 0         | 0      | 100,000   |
| 面接研修開催収入        | 100,000     | 0         | 0           | 0    | 0           | 100,000     | 0         | 0      | 100,000   |
| 受取寄付金           | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0      | 0         |
| 寄附金             | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0      | 0         |
| 雑収益             | 0           | 0         | 800,030     | 0    | 800,030     | 800,030     | 320       | 0      | 800,350   |
| 雑収益             | 0           | 0         | 800,030     | 0    | 800,030     | 800,030     | 320       | 0      | 800,350   |
| 経常収益計           | 2,212,000   | 0         | 800,030     | 0    | 800,030     | 3,012,030   | 5,100,320 | 0      | 8,112,350 |
| (2) 経常費用        |             |           |             |      |             |             |           |        |           |
| 事業費             | 3,703,500   | 500,000   | 3,568,500   | 0    | 3,568,500   | 7,772,000   |           | 0      | 7,772,000 |
| 役員報酬            | 0           | 0         | 50,000      | 0    | 50,000      | 50,000      |           | 0      | 50,000    |
| 懇親会費            | 0           | 0         | 1,780,000   | 0    | 1,780,000   | 1,780,000   |           | 0      | 1,780,000 |
| 旅費交通費           | 142,500     | 0         | 234,500     | 0    | 234,500     | 377,000     |           | 0      | 377,000   |
| 会議費             | 55,000      | 0         | 353,000     | 0    | 353,000     | 408,000     |           | 0      | 408,000   |
| 諸謝金             | 740,000     | 0         | 180,000     | 0    | 180,000     | 920,000     |           | 0      | 920,000   |
| 印刷製本費           | 2,650,000   | 0         | 400,000     | 0    | 400,000     | 3,050,000   |           | 0      | 3,050,000 |
| 通信運搬費           | 26,500      | 0         | 90,000      | 0    | 90,000      | 116,500     |           | 0      | 116,500   |
| サイト運営費          | 66,000      | 0         | 16,500      | 0    | 16,500      | 82,500      |           | 0      | 82,500    |
| 消耗品費            | 23,000      | 0         | 85,500      | 0    | 85,500      | 108,500     |           | 0      | 108,500   |
| 支払寄附金           | 0           | 500,000   | 0           | 0    | 0           | 500,000     |           | 0      | 500,000   |
| 調査研究費           | 0           | 0         | 30,000      | 0    | 30,000      | 30,000      |           | 0      | 30,000    |
| 渉外費             | 0           | 0         | 150,000     | 0    | 150,000     | 150,000     |           | 0      | 150,000   |
| 賃借料             | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           |           | 0      | 0         |
| 租税公課            | 0           | 0         | 70,000      | 0    | 70,000      | 70,000      |           | 0      | 70,000    |
| 支払報酬            | 0           | 0         | 90,000      | 0    | 90,000      | 90,000      |           | 0      | 90,000    |
| 雑費              | 500         | 0         | 39,000      | 0    | 39,000      | 39,500      |           | 0      | 39,500    |
| 管理費             |             |           |             |      |             |             | 510,000   | 0      | 510,000   |
| 懇親会費            |             |           |             |      |             |             | 0         | 0      | 0         |
| 旅費・交通費          |             |           |             |      |             |             | 400,000   | 0      | 400,000   |
| 通信運搬費           |             |           |             |      |             |             | 0         | 0      | 0         |
| 消耗品費            |             |           |             |      |             |             | 10,000    | 0      | 10,000    |
| 印刷製本費           |             |           |             |      |             |             | 0         | 0      | 0         |
| 事務局費            |             |           |             |      |             |             | 90,000    | 0      | 90,000    |
| 渉外費             |             |           |             |      |             |             | 0         | 0      | 0         |
| 雑費              |             |           |             |      |             |             | 10,000    | 0      | 10,000    |
| 経常費用計           | 3,703,500   | 500,000   | 3,568,500   | 0    | 3,568,500   | 7,772,000   | 510,000   | 0      | 8,282,000 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △ 1,491,500 | △ 500,000 | △ 2,768,470 | 0    | △ 2,768,470 | △ 4,759,970 | 4,590,320 | 0      | △ 169,650 |
| 基本財産評価損益等       | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0      | 0         |
| 特定資産評価損益等       | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0      | 0         |
| 投資有価証券評価損益等     | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0      | 0         |
| 評価損益等計          | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0      | 0         |
| 当期経常増減額         | △ 1,491,500 | △ 500,000 | △ 2,768,470 | 0    | △ 2,768,470 | △ 4,759,970 | 4,590,320 | 0      | △ 169,650 |
| 2. 経常外増減の部      |             |           |             |      |             |             |           |        |           |
| (1) 経常外収益       |             |           |             |      |             |             |           |        |           |
| 経常外収益           | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0      | 0         |
| 経常外収益計          | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0      | 0         |
| (2) 経常外費用       |             |           |             |      |             |             |           |        |           |
| 経常外費用           | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0      | 0         |
| 経常外費用計          | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0      | 0         |
| 当期経常外増減額        | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0      | 0         |

## 令和6年度 事業報告

### 【公益事業】

#### A 研究・研修活動

##### 1 研究活動

###### (1) 総会後の教育講演会

令和6年6月9日（日）14：15開会 東京学芸大学講義棟S410教室

演 題 『教育YouTuberがみなさんに伝えたいこと』

講 師 葉一 先生（A類数学科卒 教育ユーチューバー）

※YouTubeによる限定ライブ配信実施

###### (2) 広報誌「學藝」による研究校紹介

令和6年8月 第151号、令和6年12月 第152号、令和7年3月 第153号に

研究発表校の予告、発表終了後の報告等を掲載

教育情報が得られるよう同窓会ホームページを案内

##### 2 研修活動

###### (1) 教育管理職等幹部教員育成研修会の開催

###### ① 校長・教育管理職（A・B選考）受験者の論文研修会

・5月19日（日）9:00～12:00 <新宿区立市谷小> 受講者10名

・6月 2日（日）9:00～12:00 <新宿区立市谷小> 受講者10名

###### ② 面接研修会（校長及びA・B選考一次合格者対象）

・9月 8日（日）9:00～15:00 <新宿区立市谷小> 受講者33名

###### ③ 主任教諭選考受験者対象研修会

・2月 1日（土）15:00～17:00 <新宿区立市谷小> 受講者22名

#### B 出版活動

##### 1 管理職及び選考受験者用研修テキスト「獅子」第46集の改訂発行・頒布

令和7年3月 1000部

##### 2 若手教員及び教員養成課程履修学生用研修テキスト「子獅子」の改訂・寄贈

令和6年12月 600部

（東京学芸大学教員養成課程履修学生用教科書および若手教員の育成テキストとして活用）

#### C ホームページ運営

「一般社団法人 東京学芸大学同窓会」ホームページへの各校・園の研究発表会の案内掲載

#### D 関係団体との連携事業

##### 1 国立大学法人東京学芸大学との連携

(1) 入学式・卒業式への理事長参列

(2) 学生への資金援助（東京学芸大学基金として援助）

(3) 「教職実践演習」への講師派遣



2 「辟雍会」との連携

- (1) 副会長、理事への就任
- (2) 理事会への出席
- (3) ホームカミングデーへの参加

3 その他関係団体との連携

- (1) 学校法人竹早学園 竹早教員保育士養成所の卒業式への参列
- (2) 学校法人竹早学園 つつじがおか幼稚園の入園式・修了式への参列
- (3) 東京都一水会等の総会等への出席

## 【共益事業】

A 運営の充実を図るための事業

- 1 理事会・支部長会の適切な企画と運営及び各活動の能率的な運営のための連絡調整
- 2 諸記録の整理保管と財産の適正な管理

B 会員意識の高揚と組織の活性化を図るための事業

- 1 総会の企画と実施・・・令和6年6月 9日（日）東京学芸大学講義棟S410教室
- 2 新年祝賀会の企画と運営・・・令和7年1月19日（日）東京ガーデンパレス
- 3 能率的かつ合理的な予算の適正執行と会費（正会員費、賛助会員費、終身会員費）納入の促進
- 4 令和6年度 管理職名簿の作成・配布 令和6年8月に学芸大学同窓会ホームページ上に掲載（6月以降に管理職等名簿（仮PDF）を、同窓会ホームページ上に掲載）
- 5 支部活動への役員出席
- 6 終身会員の勧誘及び支部別組織化
- 7 広報誌「學藝」での活動の周知
- 8 ホームページを活用し、同窓会活動を周知

C 支部活動活性化への支援事業

- 1 支部研修会への講師派遣
- 2 広報誌「學藝」での支部活動の紹介
- 3 会員数に応じた支部活動費の給付（200円×正会員費納入数）

## 令和6年度 収支決算書

令和6年 4月1日から  
令和7年 3月31日まで

(単位:円)

| 科 目             | 公益事業        | 寄付        | その他会計       |      |             | 事業計         | 法人会計      | 内部取引<br>控除 | 合計          |
|-----------------|-------------|-----------|-------------|------|-------------|-------------|-----------|------------|-------------|
|                 | 小計          |           | 共益小計        | 収益事業 | その他会計       |             |           |            |             |
| I 一般正味財産増減の部    |             |           |             |      |             |             |           |            |             |
| 1. 経常増減の部       |             |           |             |      |             |             |           |            |             |
| (1) 経常収益        |             |           |             |      |             |             |           |            |             |
| 基本財産運用益         | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0          | 0           |
| 基本財産賃貸収入        | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0          | 0           |
| 受取会費            | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 5,109,500 | 0          | 5,109,500   |
| 会費収入 正会員費       | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 3,583,500 | 0          | 3,583,500   |
| 準会員費            | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0          | 0           |
| 賛助会員費           | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 1,436,000 | 0          | 1,436,000   |
| 終身会員費           | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 90,000    | 0          | 90,000      |
| 事業収益            | 2,180,500   | 0         | 0           | 0    | 0           | 2,180,500   | 0         | 0          | 2,180,500   |
| 出版頒布「獅子」        | 1,942,500   | 0         | 0           | 0    | 0           | 1,942,500   | 0         | 0          | 1,942,500   |
| 出版頒布「子獅子」       | 12,000      | 0         | 0           | 0    | 0           | 12,000      | 0         | 0          | 12,000      |
| 論文研修開催収入        | 82,000      | 0         | 0           | 0    | 0           | 82,000      | 0         | 0          | 82,000      |
| 面接研修開催収入        | 144,000     | 0         | 0           | 0    | 0           | 144,000     | 0         | 0          | 144,000     |
| 受取寄付金           | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0          | 0           |
| 寄附金             | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0          | 0           |
| 雑収益             | 66,000      | 0         | 1,469,436   | 0    | 1,469,436   | 1,535,436   | 16,299    | 0          | 1,551,735   |
| 雑収益             | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 16,299    | 0          | 16,299      |
| 経常収益計           | 2,246,500   | 0         | 1,469,436   | 0    | 1,469,436   | 3,715,936   | 5,125,799 | 0          | 8,841,735   |
| (2) 経常費用        |             |           |             |      |             |             |           |            |             |
| 事業費             | 5,798,609   | 500,000   | 3,955,457   | 0    | 3,955,457   | 10,254,066  |           | 0          | 10,254,066  |
| 役員報酬            | 0           | 0         | 65,000      | 0    | 65,000      | 65,000      |           | 0          | 65,000      |
| 懇親会費            | 0           | 0         | 2,161,128   | 0    | 2,161,128   | 2,161,128   |           | 0          | 2,161,128   |
| 旅費・交通費          | 132,000     | 0         | 278,900     | 0    | 278,900     | 410,900     |           | 0          | 410,900     |
| 会議費             | 73,180      | 0         | 355,517     | 0    | 355,517     | 428,697     |           | 0          | 428,697     |
| 諸謝金             | 1,010,000   | 0         | 0           | 0    | 0           | 1,010,000   |           | 0          | 1,010,000   |
| 印刷製本費           | 4,490,807   | 0         | 387,108     | 0    | 387,108     | 4,877,915   |           | 0          | 4,877,915   |
| 通信運搬費           | 4,880       | 0         | 33,701      | 0    | 33,701      | 38,581      |           | 0          | 38,581      |
| サイト運営費          | 66,000      | 0         | 0           | 0    | 0           | 66,000      |           | 0          | 66,000      |
| 消耗品費            | 0           | 0         | 121,821     | 0    | 121,821     | 121,821     |           | 0          | 121,821     |
| 支払寄附金           | 0           | 500,000   | 0           | 0    | 0           | 500,000     |           | 0          | 500,000     |
| 調査研究費           | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           |           | 0          | 0           |
| 渉外費             | 0           | 0         | 347,000     | 0    | 347,000     | 347,000     |           | 0          | 347,000     |
| 賃借料             | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           |           | 0          | 0           |
| 租税公課            | 0           | 0         | 70,000      | 0    | 70,000      | 70,000      |           | 0          | 70,000      |
| 支払報酬            | 0           | 0         | 118,782     | 0    | 118,782     | 118,782     |           | 0          | 118,782     |
| 雑費              | 21,742      | 0         | 16,500      | 0    | 16,500      | 38,242      |           | 0          | 38,242      |
| 管理費             |             |           |             |      |             |             | 330,456   | 0          | 330,456     |
| 懇親会費            |             |           |             |      |             |             | 0         | 0          | 0           |
| 旅費・交通費          |             |           |             |      |             |             | 216,300   | 0          | 216,300     |
| 通信運搬費           |             |           |             |      |             |             | 0         | 0          | 0           |
| 消耗品費            |             |           |             |      |             |             | 0         | 0          | 0           |
| 印刷製本費           |             |           |             |      |             |             | 0         | 0          | 0           |
| 事務局費            |             |           |             |      |             |             | 90,000    | 0          | 90,000      |
| 渉外費             |             |           |             |      |             |             | 0         | 0          | 0           |
| 雑費              |             |           |             |      |             |             | 24,156    | 0          | 24,156      |
| 経常費用計           | 5,798,609   | 500,000   | 3,955,457   | 0    | 3,955,457   | 10,254,066  | 330,456   | 0          | 10,584,522  |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △ 3,552,109 | △ 500,000 | △ 2,486,021 | 0    | △ 2,486,021 | △ 6,538,130 | 4,795,343 | 0          | △ 1,742,787 |
| 基本財産評価損益等       | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0          | 0           |
| 特定資産評価損益等       | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0          | 0           |
| 投資有価証券評価損益等     | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0          | 0           |
| 評価損益等計          | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0          | 0           |
| 当期経常増減額         | △ 3,552,109 | △ 500,000 | △ 2,486,021 | 0    | △ 2,486,021 | △ 6,538,130 | 4,795,343 | 0          | △ 1,742,787 |
| 2. 経常外増減の部      |             |           |             |      |             |             |           |            |             |
| (1) 経常外収益       |             |           |             |      |             |             |           |            |             |
| 経常外収益           | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0          | 0           |
| 経常外収益計          | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0          | 0           |
| (2) 経常外費用       |             |           |             |      |             |             |           |            |             |
| 経常外費用           | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0          | 0           |
| 経常外費用計          | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0          | 0           |
| 当期経常外増減額        | 0           | 0         | 0           | 0    | 0           | 0           | 0         | 0          | 0           |
| II 当期一般正味財産増減額  |             |           |             |      |             |             |           |            | △ 1,742,787 |
| 一般正味財産期首残高      |             |           |             |      |             |             |           |            | 28,098,481  |
| 一般正味財産期末残高      |             |           |             |      |             |             |           |            | 26,355,694  |

## 令和7年度 理事・部員・監事等名簿

令和7年7月現在

## 1 理 事

|    | 役 職   | 氏 名     | 卒   | 専攻類科   | 勤 務 先        | 勤務先電話        | 勤務先FAX       |
|----|-------|---------|-----|--------|--------------|--------------|--------------|
| 1  | 理 事 長 | 茅 原 直 樹 | 58  | B－国語   | 守屋育英学園       | 03-3653-0031 | 03-3653-1174 |
| 2  | 副理事長  | 渡 辺 裕 之 | 59  | M－国語   | 武蔵野大学        | 042-468-3290 | 042-468-3207 |
| 3  | 副理事長  | 貝 原 俊 明 | 60  | A－保健体育 | 町田市立南第四小     | 042-796-1326 | 042-795-8759 |
| 4  | 副理事長  | 小 川 優   | 59  | A－学校教育 | 中央区立日本橋小     | 03-3668-2361 | 03-3668-2363 |
| 5  | 副理事長  | 野 口 敏 朗 | 54  | A－保健体育 | 東京学芸大学       | 042-468-3290 | 042-468-3207 |
| 6  | 副理事長  | 青 山 直 志 | H1  | A－学校教育 | 東京学芸大学、附属大泉小 | 03-5905-0200 | 03-5905-0209 |
| 7  | 総務部長  | 佐 野 篤   | H1  | A－学校教育 | 杉並区立桃井第五小    | 03-3390-3188 | 03-3390-0229 |
| 8  | 同副部長  | 織 茂 直 樹 | 62  | A－社会   | 東村山市立大岱小     | 042-391-8113 | 042-397-5402 |
| 9  | 同副部長  | 内 木 勉   | 62  | A－国語   | 練馬区立光が丘春の風小  | 03-3976-5861 | 03-5383-3592 |
| 10 | 同副部長  | 山 崎 高 志 | H5  | C－特殊教育 | 港区立本村小       | 03-3473-1462 | 03-3443-8535 |
| 11 | 同副部長  | 和田万希子   | 62  | E－幼稚園  | 台東区立石浜橋場こども園 | 03-3876-0049 | 03-3871-9521 |
| 12 | 会計部長  | 關 口 泰 正 | H8  | A－学校教育 | 北区立なでしこ小     | 03-3910-7812 | 03-5567-4523 |
| 13 | 同副部長  | 西 澤 尚 子 | 62  | E－幼稚園  | 北区立さくらだこども園  | 03-3914-8486 | 03-3914-8486 |
| 14 | 研修部長  | 西 田 香   | 63  | A－理科   | 渋谷区立笹塚小      | 03-3377-2345 | 03-3377-2466 |
| 15 | 同副部長  | 清 水 淳   | 63  | A－保健体育 | 町田市立本町田ひなた小  | 042-721-5561 | 042-721-5563 |
| 16 | 同副部長  | 石 原 淳   | H4  | M－社会   | 台東区立大正小      | 03-3876-5592 | 03-3876-5589 |
| 17 | 調査部長  | 藤 山 由 仁 | H11 | A－社会   | 中央区立月島第一小    | 03-3531-7285 | 03-3531-2207 |
| 18 | 同副部長  | 平 松 隆 行 | H6  | A－数学   | 板橋区立高島第一小    | 03-3939-2091 | 03-5998-4103 |
| 19 | 広報部長  | 加 納 一 好 | 59  | A－社会   | 渋谷区立上原中      | 03-3460-0666 | 03-3460-0026 |
| 20 | 同副部長  | 原 沢 伸 一 | 62  | A－数学   | 台東区立平成小      | 03-3831-1530 | 03-3839-5154 |

## 2 部 員

|    | 役 職  | 氏 名     | 卒   | 専攻類科   | 勤 務 先       | 勤務先電話        | 勤務先FAX       |
|----|------|---------|-----|--------|-------------|--------------|--------------|
| 1  | 総務部員 | 石 井 正 広 | H1  | A－社会   | 新宿区立四谷小     | 03-5369-3776 | 03-3341-4343 |
| 2  | 総務部員 | 熊 倉 勝   | 63  | A－数学   | 文京区教育委員会    | 03-5803-1298 | 03-5803-1368 |
| 3  | 総務部員 | 早 川 修 一 | 57  | D－音楽   | 杉並区立桃井第五小   | 03-3390-3188 | 03-3390-0229 |
| 4  | 総務部員 | 西 田 智 男 | H3  | A－学校教育 | 東村山市立化成小    | 042-391-8111 | 042-397-5400 |
| 5  | 総務部員 | 宮 入 祥 郎 | 63  | B－社会   | 北区立都の北学園    | 03-3902-2462 | 03-3902-2570 |
| 6  | 総務部員 | 須釜久美子   | 62  | A－国語   | 竹早教員保育士養成所  | 03-3811-7251 | 03-3811-7253 |
| 7  | 総務部員 | 松 木 千 明 | H9  | A－理科   | 江戸川区立清新一中   | 03-3878-1281 | 03-3878-1282 |
| 8  | 総務部員 | 鈴 木 邦 夫 | H1  | B－技術   | 都立葛西工科高     | 03-3653-4111 | 03-3674-6187 |
| 9  | 会計部員 | 飯 田 美 弥 | H7  | E－幼稚園  | 港区立にじのはし幼稚園 | 03-5500-2577 | 03-5500-2577 |
| 10 | 会計部員 | 佐 藤 恵   | H4  | E－幼稚園  | 中央区立明石幼稚園   | 03-3541-9522 | 03-3541-9524 |
| 11 | 会計部員 | 飯 川 浩 二 | H5  | A－社会   | 江東区立第二亀戸小   | 03-3684-4303 | 03-3682-0168 |
| 12 | 会計部員 | 望 月 潔   | H5  | A－学校教育 | 江東区立東雲小     | 03-3529-1452 | 03-3528-1768 |
| 13 | 研修部員 | 井口美由紀   | 63  | A－国語   | 新宿区立市谷小     | 03-3266-1603 | 03-3266-8078 |
| 14 | 研修部員 | 大橋美都子   | 62  | E－幼稚園  | 港区立白金台幼稚園   | 03-3443-5618 | 03-3443-5618 |
| 15 | 研修部員 | 薄 井 智 美 | 62  | A－国語   | 町田市立町田第六小   | 042-722-3659 | 042-721-4730 |
| 16 | 研修部員 | 高 野 康 弘 | H3  | A－保健体育 | 板橋区上板橋第二小   | 03-3956-8111 | 03-5995-8346 |
| 17 | 研修部員 | 磯 茂 子   | 63  | A－社会   | 板橋区立志村坂下小   | 03-3932-6365 | 03-3934-1791 |
| 18 | 研修部員 | 柿 崎 洋 一 | H3  | A－社会   | 青梅市立第七小     | 0428-74-5304 | 0428-74-4738 |
| 19 | 研修部員 | 加 瀬 幸 司 | H2  | A－数学   | 足立区立中島根小    | 03-3850-4071 | 03-3850-4072 |
| 20 | 研修部員 | 佐 藤 友 信 | H1  | A－社会   | 江東区立東陽小     | 03-3644-0003 | 03-5690-4013 |
| 21 | 研修部員 | 生 田 目 将 | 63  | B－数学   | 多摩市立和田中学校   | 042-371-4531 | 042-337-7650 |
| 22 | 研修部員 | 水 野 睦 子 | H6  | M－保健体育 | 新宿区立愛日小学校   | 03-3266-1604 | 03-3266-8084 |
| 23 | 研修部員 | 丸 節 子   | 60  | A－美術   | 町田市教育センター   | 042-793-2481 | 042-791-0359 |
| 24 | 研修部員 | 荒 木 克 之 | H8  | A－保健体育 | 北区立岩淵小学校    | 03-3902-8297 | 03-3901-2878 |
| 25 | 研修部員 | 伊 藤 秀 一 | 62  | A－理科   | 江戸川区第四葛西小   | 03-3688-1833 | 03-3869-2309 |
| 26 | 研修部員 | 増 嶋 広 曜 | H9  | A－保健体育 | 台東区教育委員会    | 03-5246-1455 |              |
| 27 | 研修部員 | 木下健太郎   | H12 | A－社会   | 大田区教育委員会    | 03-5744-1435 |              |

# 令和7年度 役員等一覧

|    | 役 職  | 氏 名     | 卒   | 専攻類科  | 勤 務 先       | 勤務先電話        | 勤務先FAX       |
|----|------|---------|-----|-------|-------------|--------------|--------------|
| 28 | 研修部員 | 土 田 昇   | 63  | A－社会  | シンガポール日本人学校 |              |              |
| 29 | 調査部員 | 川 越 裕 子 | H8  | E－幼稚園 | 中央区立久松幼稚園   | 03-3277-9071 | 03-3277-9073 |
| 30 | 調査部員 | 加 藤 路 恵 | H8  | A－体育  | 杉並区立桃井第四小   | 03-3390-3185 | 03-3390-4917 |
| 31 | 調査部員 | 鈴木健太郎   | H10 | A－数学  | 武蔵野市立第五小学校  | 0422-51-2196 | 0422-55-5036 |
| 32 | 広報部員 | 荻久保剛正   | H6  | A－数学  | 板橋区立板橋第一小   | 03-3961-0100 | 03-5375-5760 |
| 33 | 広報部員 | 入 倉 勝   | H5  | A－社会  | 杉並区立三谷小     | 03-3390-0164 | 03-3390-0271 |
| 34 | 広報部員 | 安 藤 良 介 | H4  | A－理科  | 台東区立石浜小     | 03-3875-0033 | 03-3871-9513 |

## 3 監 事

|   | 役 職 | 氏 名     | 卒  | 専攻類科   | 勤 務 先                                  | 勤務先電話                        | 勤務先FAX       |
|---|-----|---------|----|--------|----------------------------------------|------------------------------|--------------|
| 1 | 監 事 | 石 川 加 子 | 55 | A－家庭科  | 教育庁指導部指導企画課<br>玉川大学教職サポートルーム<br>東京学芸大学 | 03-3811-0072<br>042-329-7272 | 03-5689-4520 |
| 2 | 監 事 | 篠 原 敦 子 | 56 | A－家庭科  |                                        |                              |              |
| 3 | 監 事 | 稲 葉 孝 之 | 56 | A－保健体育 |                                        |                              |              |
| 4 | 監 事 | 田 村 秀 子 | 57 | E－幼稚園  |                                        |                              |              |
| 5 | 監 事 | 鈴 木 聡   | H3 | A－学校教育 |                                        |                              |              |

## 4 顧 問

|    | 役 職 | 氏 名     | 卒  | 専攻類科    | 勤 務 先                                                         | 勤務先電話                                                                        | 勤務先FAX                                                       |
|----|-----|---------|----|---------|---------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 1  | 顧 問 | 國 分 充   |    |         | 東京学芸大学（学長）                                                    | 042-329-7100                                                                 | 042-329-7129                                                 |
| 2  | 顧 問 | 秋 山 育 也 | 30 | 甲－社会    | 竹早学園理事長<br>台東ことぶきこども園<br>葛飾区立総合教育センター<br>竹早教員保育士養成所<br>東京学芸大学 | 03-3577-5973<br>03-3841-4719<br>03-5668-7607<br>03-3811-7251<br>042-468-3290 | 03-3841-4602<br>03-5668-7607<br>03-3811-7253<br>042-468-3207 |
| 3  | 顧 問 | 佐 藤 倫 則 | 35 | 乙－保健体育  |                                                               |                                                                              |                                                              |
| 4  | 顧 問 | 安 藤 駿 英 | 37 | 甲－教育・心理 |                                                               |                                                                              |                                                              |
| 5  | 顧 問 | 吉 野 尚 也 | 37 | 甲－保健体育  |                                                               |                                                                              |                                                              |
| 6  | 顧 問 | 加 藤 正 克 | 44 | A－保健体育  |                                                               |                                                                              |                                                              |
| 7  | 顧 問 | 塩 澤 雄 一 | 49 | A－学校教育  |                                                               |                                                                              |                                                              |
| 8  | 顧 問 | 齊 藤 光 一 | 48 | A－理科    |                                                               |                                                                              |                                                              |
| 9  | 顧 問 | 高 橋 武 郎 | 50 | A－社会    |                                                               |                                                                              |                                                              |
| 10 | 顧 問 | 和 田 利 次 | 53 | A－数学    |                                                               |                                                                              |                                                              |
| 11 | 顧 問 | 森 富 子   | 51 | A－理科    |                                                               |                                                                              |                                                              |

## 5 参 与

|    | 役 職 | 氏 名       | 卒   | 専攻類科   | 勤 務 先                                                      | 勤務先電話                                                        | 勤務先FAX                                       |
|----|-----|-----------|-----|--------|------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 1  | 参 与 | 岡 村 幸 夫   | 25Ⅲ | （第三師範） | 元大泉会 代表<br>竹早教員保育士養成所<br>日本赤十字社東京都支部<br>江東区教育委員会<br>五反野幼稚園 | 03-3811-7251<br>03-5273-6741<br>03-3467-9170<br>03-3889-7621 | 03-3811-7253<br>03-5890-6911<br>03-3889-7621 |
| 2  | 参 与 | 溝 江 力     | 26  | 乙－理科   |                                                            |                                                              |                                              |
| 3  | 参 与 | 森 正 康     | 29  | 甲－美術   |                                                            |                                                              |                                              |
| 4  | 参 与 | 高 橋 毅     | 36  | 甲－保健体育 |                                                            |                                                              |                                              |
| 5  | 参 与 | 奥 山 英 男   | 34  | 甲－社会   |                                                            |                                                              |                                              |
| 6  | 参 与 | 宮 田 澄 江   | 37  | 甲－国語   |                                                            |                                                              |                                              |
| 7  | 参 与 | 岩 谷 榮 子   | 38  | 甲－数学   |                                                            |                                                              |                                              |
| 8  | 参 与 | 竹 内 道 義   | 38  | 甲－保健体育 |                                                            |                                                              |                                              |
| 9  | 参 与 | 原 妃 裳 子   | 41  | 甲－教育心理 |                                                            |                                                              |                                              |
| 10 | 参 与 | 堀 木 邦 男   | 43  | B－保健体育 |                                                            |                                                              |                                              |
| 11 | 参 与 | 足 立 善 朗   | 44  | B－社会   |                                                            |                                                              |                                              |
| 12 | 参 与 | 佐 治 恒 孝   | 44  | D－保健体育 |                                                            |                                                              |                                              |
| 13 | 参 与 | 市 川 雅 美   | 47  | A－国語   |                                                            |                                                              |                                              |
| 14 | 参 与 | 島 秀 夫     | 47  | A－数学   |                                                            |                                                              |                                              |
| 15 | 参 与 | 櫻 井 茂     | 51  | A－学校教育 |                                                            |                                                              |                                              |
| 16 | 参 与 | 柳 戸 誉 彦   |     |        |                                                            |                                                              |                                              |
| 17 | 参 与 | 白 木 信 子   | 45  | A－保健体育 |                                                            |                                                              |                                              |
| 18 | 参 与 | 酒 井 晴 夫   | 46  | B－産業技術 |                                                            |                                                              |                                              |
| 19 | 参 与 | 早 坂 ひ と み | 54  | A－国語   |                                                            |                                                              |                                              |
| 20 | 参 与 | 伊 藤 隆     | 52  | A－保健体育 |                                                            |                                                              |                                              |
| 21 | 参 与 | 葛 谷 裕 治   | 56  | A－数学   |                                                            |                                                              |                                              |



## 令和7年度 支部長名簿

令和7年7月現在

| NO | 支部名 | 現任校名   | 支部長名    | NO | 支部名    | 現任校名            | 支部長名    |
|----|-----|--------|---------|----|--------|-----------------|---------|
| 1  | 千代田 | 和泉小    | 服 部 達 彦 | 33 | 小金井    | 本町小             | 佐 藤 步   |
| 2  | 中 央 | 月島第三小  | 鈴 木 潤   | 34 | 小 平    | 学園東小            | 阿 原 正 人 |
| 3  | 港   | 芝浦小    | 井 田 孝   | 35 | 日 野    | 旭が丘小            | 半 田 大 樹 |
| 4  | 新 宿 | 淀橋第四小  | 片 山 直 子 | 36 | 東村山    | 東萩山小            | 吉 野 正 人 |
| 5  | 文 京 | 林町小    | 津 島 弘 和 | 37 | 国分寺    | 第八小             | 矢 島 英 明 |
| 6  | 台 東 | 富士小学校  | 裕 井 啓 史 | 38 | 国 立    | 国立第五小           | 白 鳥 聡   |
| 7  | 墨 田 | 二葉小    | 由 良 隆   | 39 | 福 生    | 福生第二小           | 中 島 恵 大 |
| 8  | 江 東 | 東雲小    | 望 月 潔   | 40 | 狛 江    | 狛江第六小           | 辻 勘 助   |
| 9  | 品 川 | 大原小    | 隈 部 洋 子 | 41 | 東大和    | 第九小             | 溝 口 佳 江 |
| 10 | 目 黒 | 向原小    | 畔 柳 信 之 | 42 | 清 瀬    | 清瀬第十小           | 鈴 木 竜 二 |
| 11 | 大 田 | 高畑小    | 室 伏 亜 紀 | 43 | 東久留米   | 第九小             | 山 本 真美枝 |
| 12 | 世田谷 | 中丸小    | 橋 口 直 美 | 44 | 武蔵村山   | 雷塚小             | 赤 坂 弘 樹 |
| 13 | 渋谷  | 中幡小    | 清 水 晃   | 45 | 多 摩    | 愛和小             | 水 野 裕 司 |
| 14 | 中 野 | 北原小    | 鈴 木 淳   | 46 | 稲 城    | 平尾小             | 福 田 章 人 |
| 15 | 杉 並 | 久我山小   | 守 田 聡 美 | 47 | 羽 村    | 武蔵野小            | 府 金 博 之 |
| 16 | 豊 島 | 西巣鴨小   | 後 藤 大 輔 | 48 | あきる野   | 御堂中             | 多 田 春 美 |
| 17 | 北   | 堀船小    | 松 本 麻 巳 | 49 | 西東京    | けやき小            | 前 田 元   |
| 18 | 荒 川 | 第四峡田小  | 宮 原 典 子 | 50 | 瑞 穂    | 瑞穂第四小           | 三 浦 幸 子 |
| 19 | 板 橋 | 新河岸小   | 金 子 陽 子 | 51 | 奥多摩    | 古里小             | 藤 田 誠 司 |
| 20 | 練 馬 | 上石神井北小 | 濱 中 一   | 52 | 日の出    | 本宿小             | 矢 野 明 徳 |
| 21 | 足 立 | 花畑第一小  | 澤 剛一郎   | 53 | 檜 原    | 檜原小             | 下 川 耕 史 |
| 22 | 葛 飾 | 小松南小   | 佐久間 浩 一 | 54 | 大 島    | つつじ小            | 稲 葉 真一郎 |
| 23 | 江戸川 | 下鎌田東小  | 山 本 浩 一 | 55 | 新 島    | 新島小             | 荒 木 憲 秀 |
| 24 | 八王子 | 鎌水小    | 高 田 浩   | 56 | 三 宅    | 御蔵島小中           | 広 瀬 京 子 |
| 25 | 立 川 | 第四小    | 浅 尾 文   | 57 | 八丈・青ヶ島 | 三根小             | 川 畑 伊豆海 |
| 26 | 武蔵野 | 第五小    | 鈴 木 健太郎 | 58 | 小笠原    | 小笠原中            | 武 田 悠   |
| 27 | 三 鷹 | 第三小    | 高 嵯 浩 三 | 59 | 学芸大学   | 附属大泉小           | 細 井 宏 一 |
| 28 | 青 梅 | 霞台小    | 森 田 彰   | 60 | 高等学校   | 多摩科学技術高         | 前 田 平 作 |
| 29 | 府 中 | 白糸台小   | 堀 越 新 一 | 61 | 特別支援   | 村山特別支援          | 阿 部 智 子 |
| 30 | 昭 島 | 武蔵野小   | 大河原 博   | 62 | 都教育庁   | 教育庁指導部<br>指導企画課 | 小宮山 詠 美 |
| 31 | 調 布 | 富士見台小  | 小 俣 弘 子 | 63 | 都教セ    | 研修部教育開発課        | 塚 原 雄 太 |
| 32 | 町 田 | 三輪小    | 萩 間 順 子 |    |        |                 |         |

## 令和7年度 附属学校等公開研究会・研究発表会

| 地区   | 学校園          | 名称                                      | 開催日           |
|------|--------------|-----------------------------------------|---------------|
| 世田谷  | 附属世田谷小学校     | 公開研究会                                   | 令和8年2月7日（土）   |
|      | 附属世田谷中学校     | 令和7年度公開授業研究会                            | 令和7年6月14日（土）  |
|      | 附属高等学校       | 第24回公開教育研究大会                            | 令和7年11月29日（土） |
| 小金井  | 附属幼稚園（小金井園舎） | 学年別公開保育検討会                              | 令和7年6月3日（火）   |
|      |              |                                         | 令和7年6月10日（火）  |
|      |              |                                         | 令和7年6月13日（金）  |
|      |              | 研究協議会                                   | 令和7年11月14日（金） |
|      | 附属小金井小学校     | 令和7年度研究発表会                              | 令和8年1月31日（土）  |
|      | 附属小金井中学校     | 令和7年度公開授業研究会                            | 令和7年11月21日（金） |
| 大泉   | 附属大泉小学校      | 令和7年度研究発表会                              | 令和8年1月24日（土）  |
|      | 附属国際中等教育学校   | 令和7(2025)年度 TGUISS授業研究会                 | 令和8年1月23日（金）  |
| 竹早   | 附属幼稚園（竹早園舎）  | 2025年度公開研究会「未来を切り拓く子どもの主体性が活きる学び」（第3年次） | 令和7年11月15日（土） |
|      | 附属竹早小学校      |                                         |               |
|      | 附属竹早中学校      |                                         |               |
| 東久留米 | 附属特別支援学校     | 令和7年度研究協議会                              | 令和8年1月23日（金）  |

東京学芸大学の各附属学校・園は、重要な業務のひとつとして、大学との連携のもとで教育に関する先端的、かつ実践的な研究を推進しています。附属の教員は個人的な研究に携わるとともに、公开发表を予定したそれぞれの学校・園ぐるみの共同研究に携わり、日本の教育の発展を力強く牽引しています。本年度の各附属学校・園の公開研究会・研究発表会等は、上記のとおり予定されています。さらに詳しい情報をご覧になりたい方は、当該校のホームページをご覧ください。

### 各附属学校の公開研究会・研究発表会の概要

※11月以降に開催する公開研究会・研究発表会の概要は、10月頃公表致します。

#### 【附属世田谷中学校】

今年度は新しい研究主題を設定する年度であり、学校としての研究主題の設定はまだありません。公開授業研究会として公開授業と研究協議を行い、中学校教育の一層の充実と向上を図りたく存じます。

#### 【附属幼稚園（小金井園舎）】

研究主題：「幼児教育を語る・伝える保育者－保育の可視化の工夫2－」

幼児教育においては、語り合い・伝え合いや共有の重要性が指摘されています。その相手は、同僚はもちろん、保護者、他園の保育者、小学校教諭、地域社会など様々です。本園では2023年度から「幼児教育を語る・伝える保育者」という研究主題を掲げ、独自に開発した保育の可視化ツール「Pシート」を活用して、保育者同士での語り合い・伝え合いの方法を模索してきました。3年次となる今年度は、同研究主題のもと「Pシート」の活用を継続し、保護者との語り合い・伝え合いを考えていきます。6月には学年別公開保育検討会（計3回）、11月14日（金）には研究協議会を予定しています。参観の方々とも、保育を語り・伝え合い、ともに保育の質向上を目指したいと考えております。

本部だより

つながりを大切に

総務部長 佐野 篤

令和七年六月八日（日）、東京学芸大学講義棟S410教室で定期総会を執り行いました。出席者は十七支部から四十九名、千四百七十四名の委任状が集まり、出席率六十三・八％で無事成立しました。各支部で委任状を取りまとめるのに大変苦労されたと推察されます。各支部長並びに連絡担当者のご尽力に感謝申し上げます。

総会では、東京学芸大学学長の國分充様をはじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜りました。また、総会後の第一むさしのホールでの懇親会にも、会員とご来賓を合わせて六十四名の参加があり、同窓生としてのつながりを深めることができました。

今回の記念公演は、東京学芸大学名誉教授で静岡市立歴史博物館館長、歴史家の大石 学先生にお願いしました。大石先生はA類社会科卒の同窓生です。「徳川の『平和』」(バクス・トクガワナ)と江戸のリテラシー」との演題で、江戸時代が二百五十年以上続いた秘密について解説してくださいました。歴史好きには、たまらない内容でした。また、大石先生は、総会の前月にNHK番組「チコちゃんに叱られる!」に出演され、「水戸黄門の謎」(黄門つてなに?)を解説されていました。さて、令和八年の新年祝賀会を一月二十五日(日)に東京ガーデンパレスで企画しています。東京学芸大学のつながりを大切に、各支部で同窓生を誘って参加してください。よろしくお願いたします。

会費納入のお願い

会計部長 關口 泰正

各支部長の皆様をはじめ、会員の皆様には、毎年、会費納入に御協力をいただきありがとうございます。昨年度は、二千三百八十九名の正会員の皆様に会費を納入いただきました。管理職の皆様にはさらに賛助会員費、また、終身会員の皆様にも会費を納入いただきました。ありがとうございます。

会計部では皆様から納入いただいた会費を同窓会の各部(総務部・研修部・調査部・広報部)が円滑な運営に役立てられるよう、金銭面での管理の徹底を今年度も図って参ります。

東京学芸大学同窓会が「一般社団法人」として公益に資する活動が充実するよう、会費の有効活用に向けて公正な会計処理を行って参ります。

今年度の予算編成、昨年度の決算につきましては、六月八日の総会で承認いただき、その内容は、本号にも記載されておりますのでご確認くださいねばと思います。

支部長の皆様を通じて「会費納入のお願い」を既に各支部へ送付いたしました。ご多用のことと存じますが、会計担当と連絡をとっていただき、九月末日までの会費納入に、ぜひ、ご協力いただければと思います。どうぞよろしくお願いたします。

研修部諸活動への御協力を!

研修部長 西田 香

本年度も、会員の方々の自己研鑽の一助となるべく、研修部員一同、力を尽くしてまいります。同窓会の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

研修会は「獅子」の表紙裏に掲載されている日時で開催しております。QRコードにてお申込みください。



◆論文研修会報告  
校園長選考、AB選考のための研修を実施しました。五月十一日は七名、六月一日は六名の参加でした。

◆面接研修会の実施  
九月七日(日)新宿区立市谷小学校にて開催します。昨年は三十三名が参加し、今年度も同窓の校長先生方へ協力依頼のFAXを送付しております。多数の御協力をお願いいたします。

◆主任教諭選考論文研修会  
令和八年二月七日(土)新宿区立市谷小学校にて開催します。昨年度は、二十二名が参加しました。今年度も、研修会後の三月末までに、二回の添削指導を行う予定です。

◆研修テキスト

「獅子」「子獅子」の編集と配布を行っております。どちらも、最新の国や都の教育課題についても記載され、管理職やこれから学校を支えていこうとする方にとって、必携の一冊と考えております。今年度も三月下旬を目途に、各支部の支部長校宛に配布させていただきます。

「管理職等名簿」の作成方法について

調査部長 藤山 由仁

調査部長の中央区立月島第一小学校長の藤山でございます。名簿作成に当たっては、毎年、多くの会員の皆様の御協力をいただいております。

一昨年度から、「管理職等名簿」は東京学芸大学同窓会のホームページ上に掲載いたしております。

現在、初版にあたる「仮PDF名簿」をホームページ上に掲載しております。これを各支部等で御確認していただいた上で、修正作業を行い「完成版PDF名簿」を八月中旬に掲載する予定です。

各支部におかれましては再度、名簿内容を御確認の上、加除訂正が必要な場合は調査部長藤山まで、ファクシミリ、メール等でお知らせください。方法の詳細はホームページ上の文書をご覧ください。

なお、管理職名簿は個人情報であり、ID、パスワードを設定し同窓会会員のみが閲覧できるようにしております。ID、パスワードは各支部長様にお伝えしております。また、終身会員の皆様にも各支部を通してその旨お伝えいただければ幸いです。終身会員の皆様は所属していた支部と連絡をお取りいただくようお願い申し上げます。

## 快調！新ホームページ

広報部長 加納 一好

広報部では年三回の「学藝」の発行とホームページの運営を行っています。

「学藝」は大学との連携を意識して編集しています。今号は総会と懇親会を中心に編集しました。附属学校の研究発表会もご案内しました。引き続き大学等の活動報告も載せてまいります。今後も現在の東京学芸大学のことや現役学生の活躍が少しでも分かるようにしていきます。

ホームページは様々な情報を迅速に会員の皆様に提供することができま  
す。ホームページもご利用ください。  
支部長会の資料もオンラインでの会議に向けて掲載しています。なお、支部長会の資料にはパスワードが付いています。パスワードは支部長にメールでお知らせしております。支部長にお尋ねください。

研究発表会の案内も特集していき  
たいと思います。研究発表会の案内が  
できましたら、ぜひ広報部にお送りく  
ださい。その他、掲載したいことがあ  
りましたら、遠慮なくお申し出ください。  
今年度も、各支部、会員の皆様には  
ご協力いただくことが多々あります。  
どうぞよろしくお願いいたします。

## 【お知らせ】

副理事長の担当は次の通りです。

### ◎副理事長の担当支部

渡辺 裕之 副理事長

千代田、中央、大田、渋谷、足立、

葛飾、府中、日野、東久留米、西

東京、瑞穂、都庁（十二地区）

貝原 俊明 副理事長

文京、台東、墨田、江東、品川、

八王子、立川、三鷹、調布、国立、

檜原、特別支援学校（十二地区）

小川 優 副理事長

港、新宿、目黒、世田谷、板橋、

武蔵野、小金井、東大和、武蔵村

山、稲城、日の出、島嶼（十二地区）

野口 敏朗 副理事長

豊島、北、荒川、江戸川、青梅、

小平、東村山、国分寺、福生、清

瀬、高等学校（十一地区）

青山 直志 副理事長

中野、杉並、練馬、昭島、町田、

狛江、多摩、羽村、あきる野、奥

多摩、学芸大（十一地区）

## ◎副理事長の担当部

渡辺裕之副理事長・総務部・広報部

貝原俊明副理事長・研修部

小川 優副理事長・調査部

野口敏朗副理事長・会計部

青山直志副理事長・総務部

## 【今後の主な予定】

### 第三回支部長会

十一月十四日（金）一八時三十分

東京ガーデンプレイスホテル

（オンラインあり）

### 新年祝賀会

一月二十五日（日）午後零時

東京ガーデンプレイスホテル

### 第四回支部長会

三月二日（月）十七時三十分

オンラインで実施

### 令和八年度

### 第一回支部長会

五月十一日（月）十七時三十分

オンライン

### 総会

六月七日（日）午後一時

東京学芸大学S四一〇教室

## ◇ 編集後記 ◇

本号も皆様のご協力により無事発行  
できました。ご寄稿・ご協力くださ  
った皆様、そして読者の皆様に心より御  
礼申し上げます。

総会開催後の懇親会では、学生時代  
の懐かしい思い出話に花が咲き、世代  
を超えた交流に会場は大いに盛り上  
がりました。学芸大で育まれた絆の強  
さを改めて感じるひとときとなりま  
した。「学藝」がその絆をつなぐ役割を  
果たせば幸いです。今後も同窓生の  
皆様と大学、そして教育界全体をつな  
ぐ架け橋となれるよう、より充実した  
紙面づくりに努めてまいります。

（広報部員 安藤良介）

## 学 藝 第一五四号

発行 令和七年八月

東京学芸大学同窓会理事長

茅原 直樹

東京都文京区小石川四の二の二十

電話〇三（三八一一）七二五二（代）

印刷 日本ハイコム株式会社

東京都文京区関口一の十九の二

電話〇三（三三三五）四四四一



## 令和7年度 同窓会総会・懇親会



茅原新理事長ご挨拶



國分学長ご挨拶



懇親会



感謝状授与



若草もゆる



支部紹介（杉並支部）